



## 心疾患患者における peak V02 と握力・歩行速度の関係に関する研究

2019年1月1日から2024年12月31日までの間で、心疾患で入院し杖等の歩行補助器具や車椅子を用いずに独歩で退院し、当院の外来に通院可能である年齢20歳以上の患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「心疾患患者における peak V02 と握力・歩行速度の関係」という研究を倫理委員会の承認並びに施設長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2019年1月1日より2024年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科にて心疾患で入院治療を受けられた患者さんを対象に、握力や歩行速度と心肺運動機能等の経時的変化を追い、握力や歩行速度によるリスク評価や予後予測の有用性を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：心疾患患者における peak V02 と握力・歩行速度の関係に関する研究  
研究期間：研究実施許可日～2024年12月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院循環器内科 病院講師 久保田芳明

### (2) 研究の意義、目的について

心肺運動負荷試験(CPX)で得られる最高酸素摂取量(peak V02)は心疾患患者の予後と密接に関係していることが報告されています。一方、握力や歩行速度は全身の筋力と良く相関することからフレイルやサルコペニアの基準の一つとして広く用いられています。我々は握力や歩行速度その患者の運動耐容能を反映しているという仮説を立て、その検証として各心疾患患者の握力と peak V02 の関係を評価し、経時的変化を追うことで握力や歩行速度による患者のリスク評価や予後予測の有用性を明らかにすることを目的といたします。

### (3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2019年1月1日より2024年12月31日に日本医科大学付属病院循環器内科にて、心疾患で入院治療を受けられた患者さんの握力や歩行速度と心肺運動機能の経時的変化(退院時、退院後30日、退院後90日)を追うことで握力や歩行速度によるリスク評価や予後予測の有用性を評価します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：性別、生年月日、発症日時、診断時年齢、診断理由、入院時から登録時までにおける各臨床症状の経過、既往歴(高血圧・糖尿病・脂質異常症の有無、心血管イベントの有無)、運動習慣ならびに理学所見、検査所見(血液検査、心電図、X線写真、心エコー冠動脈造影所見、左室造影所見、心電図、ホルター心電図における非持続性心室頻拍や発作性心房細動等の不整脈の有無、心エコー、血液検査データ)、薬物治療内容、心肺運動負荷試験、5m歩行速度、握力、体組成量

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 循環器内科 病院講師 久保田芳明

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131(代表) 内線：24766 メールアドレス：ykubota@nms.ac.jp